



心レンゲ
和らぐ

わかば福祉ネットワーク

平成 29 年 3 月 25 日発行
第 20 号

発行: わかば福祉ネットワーク
責務: 代表 山川 紀雄
担当: 事務局 (村山)
Tel/Fax 21-3965



特集

防犯



警視庁 HP より
Metropolitan Police Department

「防犯意識」という言葉を耳にしたことがありますか？

我が家における防犯対策はどうなっているか？

もし、自分が泥棒なら、どこを狙うか？どこが弱いか？

夜間、外出時に無施錠の窓や扉はないか？・・・など

住民が高い防犯意識を持つ町では侵入窃盗などの犯罪が起こりにくいとされています。住民同士の声掛けや挨拶などを励行することによって、不審者を見つけることができます。

防犯意識の高い住民が住んでいる町というのは、犯罪者にとって非常にありがたい、嫌な場所となります。

犯行前に下見を行っている、住民に怪しまれ、警察に通報される、町全体で犯罪者に対する警戒を行っているところをあえて狙おうとは思わないでしょう。まず、防犯に関して意識を持つことからスタートしましょう。



防犯四要素を使った住宅は侵入犯が最も嫌います!!

①「監視の目」即ち、「見られ監視される」のを嫌う心理を衝いた防犯対策

②「光」で姿が映しだされるのを嫌う心理を衝いた対策

犯人は隠れて行動するため、侵入犯を明るく照らし姿をあらわにする光を嫌います。

③「音」により家人・近隣に知られるのを嫌う心理を衝いた防犯対策

④「時間や手間」のかかる侵入を嫌う心理を衝いた防犯対策

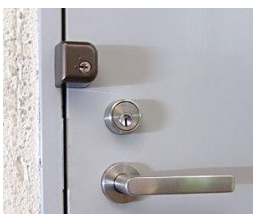
侵入に時間が掛かるのを嫌います。侵入犯は、侵入するのに 5 分以上かかると、70%近くが諦め、10 分以上かかると、90%以上の犯人が侵入を諦める統計があります。侵入に5分以上掛かると、隣近所に気付かれる恐れが働くようです。



【ドアの防犯対策】 【窓の防犯対策】

補助錠を取り付ける

1つのドアに錠が2つ以上ついていると、侵入に時間を要するため、泥棒は嫌がります。



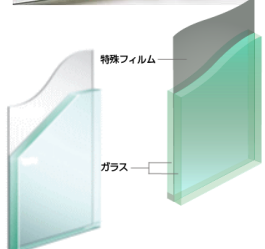
補助錠を取り付ける

サッシには補助錠を取り付けましょう。クレセント錠はロック付きのものが有効です。



防犯フィルムを貼付する

ウィンドウフィルムを窓ガラス全面に貼付し防犯効果を高めましょう。



【泥棒を寄せ付けないその他の手段】

センサー付きライトを設置する

人の動きを感知してライトが点灯するセンサー付きライトを、死角になる場所に設置すると効果的です。

カメラ付きインターホンを設置する

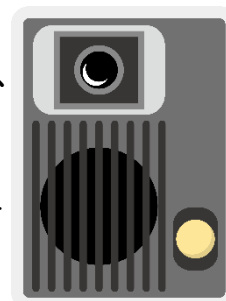
訪問者を屋内から確認することができ、見知らぬ人が訪ねてきてもドア越しに対応できるので有効です。

見通しのよいフェンスを設置する

侵入されても周囲から視認できる見通しのよいフェンスを設置するのも有効です。

庭先に砂利を敷く

侵入されても敷地内を歩くと音が鳴るため泥棒は嫌がります。



日頃からの心掛け

戸締りは確実に

ゴミ出しや買い物など、短時間の外出でも必ず戸締りをしましょう。2階の部屋や格子のある浴室やトイレの窓も施錠を確認するようにしてください。

合鍵を玄関周辺などに置いておかない

ドア鍵は持ち歩くようにし、敷地内であっても郵便受けや鉢など屋外には合鍵を絶対に置かないようにしてください。

足場になるようなものは置いておかない

脚立やポリバケツ等は泥棒に侵入の足場にされてしまう可能性があります。庭に足場になる可能性のあるものは置かないでください。

新聞は溜めないようにする

新聞が郵便受け等に溜まっていると泥棒に留守であることを悟られてしまいます。長期間留守にする時は、新聞の配達を止めてもらうように手配しましょう。

「地域の目」で街を守りましょう

普段からあいさつ、声掛けを励行するなど、ご近所付合いを大事にしましょう。自分の住んでいる街のことを知り、「地域の目」で犯罪の起きにくい街にしましょう。

わかば福祉ネットワークは

子どもや高齢者の見守り活動を続けています

ネットワークでは一緒に活動していただける
地域福祉協力員を募集中です!!

みなさんも一緒に活動してみませんか？

お問合せは 事務局 村山 21-3965

